



### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	し尿や浄化槽汚泥を処理する施設を適切に維持管理することにより、環境保全に努める。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	汲取人口の減少の状況。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	し尿や浄化槽汚泥などの廃棄物を適正に処理することは市の責務である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	公共下水の普及に伴い、わずかずつであるが汲取人口は減少しているものの廃棄物の適正な処理を行うことは必要。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	廃棄物の適正処理のため、事業の継続は重要である。

### 4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	廃棄物の適正処理のため、処理施設の適正な維持管理を行う必要がある。また、今後の安定した適正処理・維持管理のため、広域化も含めた幅広い手法について検討する必要がある。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	処理施設の計画的な更新・修繕のため点検を実施する
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	双子川浄苑の更新・修繕計画の策定
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	計画的な更新・修繕工事の実施

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	処理施設の維持管理が適切に実施されている。引き続き設備の維持管理に計画的に取り組まれるとともに、今後の老朽化対策への検討を進められたい。	